

目標設定シート (2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	文学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.2 教育課程・教育内容
小項目	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
要素	必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 専門教育・教養教育の位置づけ（学部） コースワークとリサーチワークのバランス（院）
小項目	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。
要素	学士課程教育に相応しい教育内容の提供（学部） 専門分野の高度化に対応した教育内容の提供（院） 理論と実務との架橋を図る教育内容の提供（専院） 初年次教育・高大連携に配慮した教育内容（学部）

○2009年度からの目標

1. 前期課程については、専門性を特化させた研究を行い、質の高い修士論文の作成を指導する。
2. 後期課程については、優れた研究成果を携えた博士学位の取得者を安定的かつ継続的に輩出できるように指導する。
3. 学位論文作成能力を養成するために研究の進捗状況に応じて段階的な指導体制を整備する。
4. 専門分野の高度化および隣接分野との学際化に対応したカリキュラムを継続的に運営する。
5. 教育成果としての大学院生・大学院研究員による学会発表、学会誌への論文投稿、研修への参加などを活発化する。

○指標

1. 修士論文の完成度、提出状況、学生の進路、修士論文の査読評価。
2. 領域ごとの博士学位論文授与数、博士論文計画書、予備論文、博士論文提出までの経過年月、審査結果、授与者の進路調査結果。
3. 「研究演習」における学位論文計画および「博士論文作成演習」における予備論文の学術的達成度の評価。
4. 大学院生の多様なニーズに対応しているかどうかについての毎年の調査結果。
5. 日本学術振興会特別研究員への申請数、学内奨励金制度への申請数、その他の研究奨励金などへの申請数と採択状況。